

## 多様な大人との関わりの中で 「地域と共に歩む根津小」 文京区立根津小学校

本校（四家薫校長）は、地域の方々の熱望により、明治三十年に、東京市根津尋常小学校として開校しました。途中、火災・震災・戦争等を経験した辛い時代もありましたが、それらの苦難を乗り越えて、間もなく127周年を迎えます。地域には、本校を卒業された方々が大勢おいでになり、三代目、四代目となる子供たちを、温かく見守り、支えてくださっています。

本校の歴史は、地域と共に歩んできた歴史でもあり、この伝統を受け継ぎ、「わが町、根津」と誇りに思う次世代の子供たちを育てていくことが、本校の使命の一つであると考えています。そこで、地域の特色と教育力を最大限に活用したカリキュラム・マネジメントを実現すべく、次のような取組で日々の教育活動を充実させています。

まず一つ目は、生活科・総合的な学習の時間を中心とした地域人材・地域施設等を活用した学習です。根津の商店や公的施設と連携した地域探検や地域の良さを発信する番組・リーフレットづくり、芸術・伝統的技能をおもちの方を講師に招いたペン画、茶道、華道、書道、昔遊び、七輪等の体験教室、東京大学アメリカンフットボール部と連携したフラッグフット教室など、一年生から六年生まで、発達段階に応じた魅力的な学習活動を展開しています。また、根津神社を中心に栄えた七つの町会によって開催される祭りやイベントにも、鼓笛隊等で学校として参加

る機会を頂き、根津っ子としてのアイデンティティーが育まれています。

二つ目は、地域と取り組む防災教育です。地域防災への意識が高い根津は、これまでも本校を避難所と想定した防災訓練に力を入れてきました。そのノウハウを熟知した地域の防災士や消防団の方にご協力を頂きながら、毎年第4学年の児童が行う防災宿泊体験では、自助・共助の在り方について考えを深め、実践力を身に付ける活動を行っています。さらに、令和6年・7年

度は、東京都安全教育推進校に決定しましたので、既存の年間指導計画を見直し、本校の安全教育をより一層充実させ、児童自身の危険回避能力や行動選択能力を向上させるために、より実効性のある安全教育・防災教育へと改善を図ります。

学校の教職員だけでなく、地域の多様な大人との関わりの中で、子供たちは多くのことを学んでいます。今後も、この恵まれた環境を生かしながら、地域と共に歩む学校経営を行ってまいります。

《会報第157号掲載3月1日発行》

